

I 日本語・日本事情教育：
全学教育科目(年次報告(平成28年度後期・29年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 原沢, 伊都夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024875

学校から参加した受講者の中にはインタビュープロジェクトに対して過剰な拒否反応を示した者もあり、サマースクール運営でこの点が最も教師一同の悩むところだった。来年以降は、サマースクール募集段階で、プログラムにインタビュープロジェクトがあるということを示し、それに賛同する者に応募してもらうよう促したいと思う。

全学教育科目

原沢伊都夫

平成28年度後期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅲ・Ⅳ、2年生向けに日本語Ⅵが開講された。25年度より、新しいカリキュラムが始まり、日本事情への日本人学生の履修が可能になった。29年度前期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅰ・Ⅱ、2年生向けに日本語Ⅴが、浜松キャンパスで1年生向けに日本事情が開講された。日本事情は学際科目に読み替えられるため、2年生の学際科目の枠の中で開講されるが、浜松では1年生のときに日本人と知り合うきっかけにしたいということで、1年次の開講となっている。日本語・日本事情科目はすべて選択科目であるが、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについては日本語力が基準を超えていると判断された場合以外は原則として受講することとなっている。なお、学生数の後にカッコ書きのある科目はセンター以外の教員が担当している。

28年度後期受講生数

科目名	必修・選択の別	受講対象学年	受講生数 (静岡キャンパス)	受講生数 (浜松キャンパス)
日本語Ⅲ	選択	1年	17 (グロ)	11 (グロ)
日本語Ⅳ	選択	1年	14 (教)	8 (非)
日本語Ⅵ	選択	2年	12	11
日本事情	選択	2年	35	—

29年度前期受講生数

科目名	必修・選択の別	受講対象学年	受講生数 (静岡キャンパス)	受講生数 (浜松キャンパス)
日本語Ⅰ	選択	1年	29	21
日本語Ⅱ	選択	1年	31 (教)	21 (グロ)
日本語Ⅴ	選択	2年	17	6
日本事情	選択	1・2年	—	23

「グロ」はグローバル企画推進室教員が、「教」は教育学部教員が、「非」は非常勤講師が担当